



但馬水産技術センターだより



漁況情報 (G0807号)

平成20年10月28日

兵庫県立農林水産技術総合センター
但馬水産技術センター 発行

平成20年度ズワイガニ漁況の見通しについて

調査船「たじま」による調査結果等から見た今期のズワイガニ漁況の見通しについて報告します。

1. 今漁期の見通し

但馬沖(主に解禁直後): 漁獲対象となるメスがに(クロコ)の資源量は前年を下回り、オスがに(硬がに)も前年並みか前年をやや下回っていると見られます。漁場は保護区域周辺の水深235-240m付近を中心に形成され、漁場の他海域への移行は比較的早いでしょう。

日本海西部(全漁期): 資源動向の評価は前年までの増加傾向から横ばいに転じており、漁獲量は前年並みか、前年をやや下回る可能性もあるでしょう。

2. 根拠となった情報

1) 調査船「たじま」による調査結果(但馬沖海域)

トロール試験操業(図1, 表1・2)

平成20年10月3~15日に、香住沖の水深200~350mおよび浜坂・竹野沖の235~250mに設けた計14点でトロール網試験操業(3ノット1.4マイル曳き)を実施しました。

メスがに: 水深235~240mで多く入網しました。250m付近では少なく、分布の中心が浅い傾向が一昨年来続いています。1曳網当たり入網数は、竹野・香住・浜坂沖ともに、資源量が近年の最高水準にあった前年を下回りました。

オスがに(硬がに): 全ての水深帯で入網しましたが、香住沖全体の1曳網当たり入網数は3.2匹で前年の4.2匹を下回りました。但し、香住沖、浜坂沖の240-250mでは前年を上回っていました。

ミズがに: 水深275mで集中して入網し、全体で前年を上回りました。

かにかご試験操業(図1, 表3)

トロール調査に先立ち平成20年7月10-11日に香住沖保護区域内外の水深246-249mで実施したかにかご調査(20かご、1昼夜浸漬)ではオス、メスともに昨年の入網数を上回りましたが、1昨年以前と比べると低水準でした。メスがにの入網は浅い方(246m寄り)のかごに集中し、分布水深が250mより浅くなっていると考えられました。

2) 他調査機関の情報(日本海西部)

(独) 水産総合研究センターの調査結果などを基に行われているズワイガニの資源評価(平成20年度版)において、A海域(富山県以西)の資源動向が従来の「増加傾向」から「横ばい」に転じました。(平成20年度資源調査票(ダイジェスト版)<http://abchan.job.affrc.go.jp/digests20/html/2016.html>より)

3. その他

- ・ アカガレイは但馬沖では水深250m付近で比較的多く入網しました(表1)
- ・ エチゼンクラゲは但馬沖の全ての調査点で全く入網しませんでした。隠岐島付近で底びき網への入網が報告され始めています。引き続き今後の推移にご注意下さい。
(JAFIC 大型クラゲ出現情報 <http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)
- ・ H23年漁期までは新しい資源の添加がやや停滞する可能性があります。アカコ、若齡がに・稚がにが多く入網する海域では操業自粛や迅速な再放流に努めましょう。
- ・ 標識の付いたズワイガニを再捕された場合は、漁協または当センターまでご報告願います。

お問い合わせ先：兵庫県立農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター (担当：大谷)

TEL：0796-36-0395 FAX：0796-36-3684

E-mail：nourinc_tajima@pref.hyogo.lg.jp

ホームページ：http://hyogo-suigi.jp/tajima/

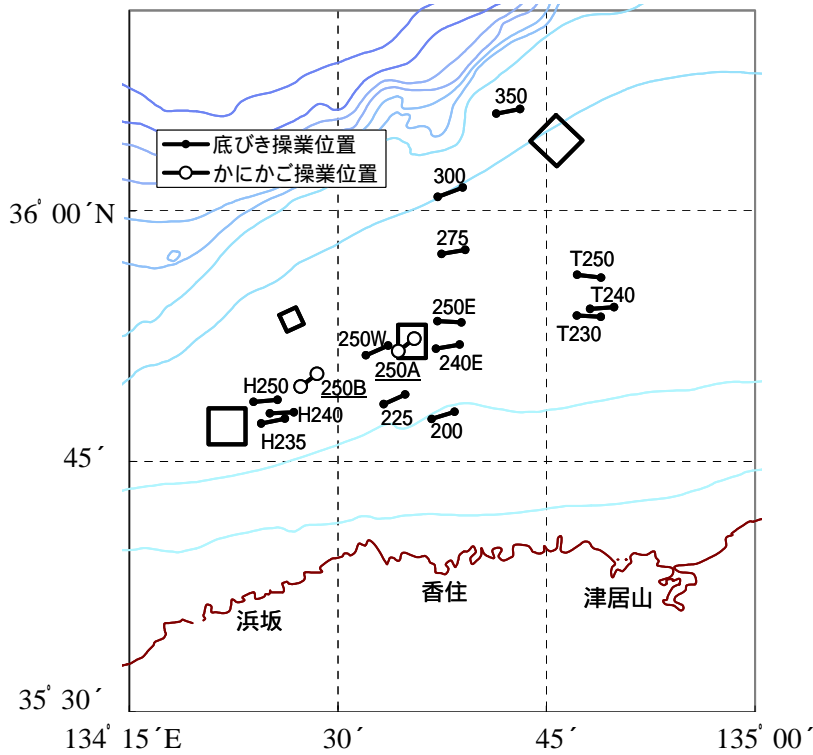


図1 調査海域図

表1 トロール網試験操業におけるズワイガニ等入網状況

漁場	年月日	定点	曳網水深 (m)	ズワイガニ入網数(匹/網)			アカガレイ 入網重量 (kg/網)	海底 水温 ()	備 考
				オス ^{*1}	メス ^{*2}	メス ^{*3}			
竹野沖	2008/10/15	T250	247 245	3	6	3	5.8	1.3	エビセンクラゲ入網なし
	"	T240	237	2	0	44	1.3	2.2	"
	"	T235	236 235	1	0	14	3.4	-	"
香住沖	2008/10/14	350	338 327	3	2	0	10.0	0.9	"
		300	300	6	6	0	4.0	1.1	"
		275	273 271	1	81	0	13.4	1.2	"
	2008/10/3	250E	250 245	3	2	1	7.5	2.0	"
		250W	248	3	2	1	26.1	1.5	"
		240E	239 234	9	2	81	1.3	2.3	"
		225	221 220	2	3	0	3.3	1.8	"
"	200	197	2	4	0	2.1	2.6	"	
浜坂沖	2008/10/8	H250	245 242	6	4	11	24.6	1.8	"
	"	H240	237 236	10	0	96	10.6	1.9	"
	"	H235	236 234	6	3	95	17.2	2.1	"

*1 硬がに(甲幅9cm以上・硬甲・ハサミ大) *2 甲幅9cm以上(硬がに以外) *3 漁期中にクロコになる個体

表2 昨年・一昨年との入網数の比較

水深帯	漁場	調査年	ズワイガニ入網数(匹/網)			アカガレイ 入網重量 (kg/網)	海底 水温 ()	備 考
			オス	メス	メス			
メス水深帯 (240-250m平均)	竹野沖	2006年	4.0	2.0	79.0	2.9	1.9	240mのみ実施
		2007年	3.0	3.0	168.0	2.2	1.6	"
		2008年	2.5	3.0	44.0	3.6	1.8	メスは240mのみの値
	香住沖	2006年	4.5	1.5	42.0	18.6	1.5	
		2007年	3.0	1.5	57.5	11.7	1.6	
		2008年	5.0	2.0	27.7	11.6	1.9	
	浜坂沖	2006年	7.0	1.5	94.5	22.5	1.9	
		2007年	5.0	6.0	105.0	26.0	1.6	
		2008年	8.0	2.0	53.5	17.6	1.9	
全体 (200-350m平均)	香住沖	2006年	5.2	3.3	5.8	7.9	1.7	水深帯別加重平均
		2007年	4.2	12.4	10.1	11.3	1.6	"
		2008年	3.2	16.3	4.6	7.4	1.6	"

表3 カニかご試験操業におけるズワイガニ入網状況(2006-2008年)

漁場	揚かご年月日	定点	有効かご数	投かご水深(m)	ズワイガニ入網数(匹/かご)			海底水温(°C)
					オス	メス	メス	
但馬沖	2006/6/20	250A(保護区内)	20	248-250	2.8	0.9	133.4	2.5
		250B(保護区外)	20	253-254	2.5	12.5	4.3	2.5
	2007/6/12	250A(保護区内)	20	250-252	0.9	0.4	0.5	1.5
		250B(保護区外)	20	253-255	0.3	0.2	0.1	1.3
	2008/7/11	250A(保護区内)	15	246-249	0.8	3.1	18.3	0.9
		250B(保護区外)	16	246-249	1.2	1.7	0.3	0.7

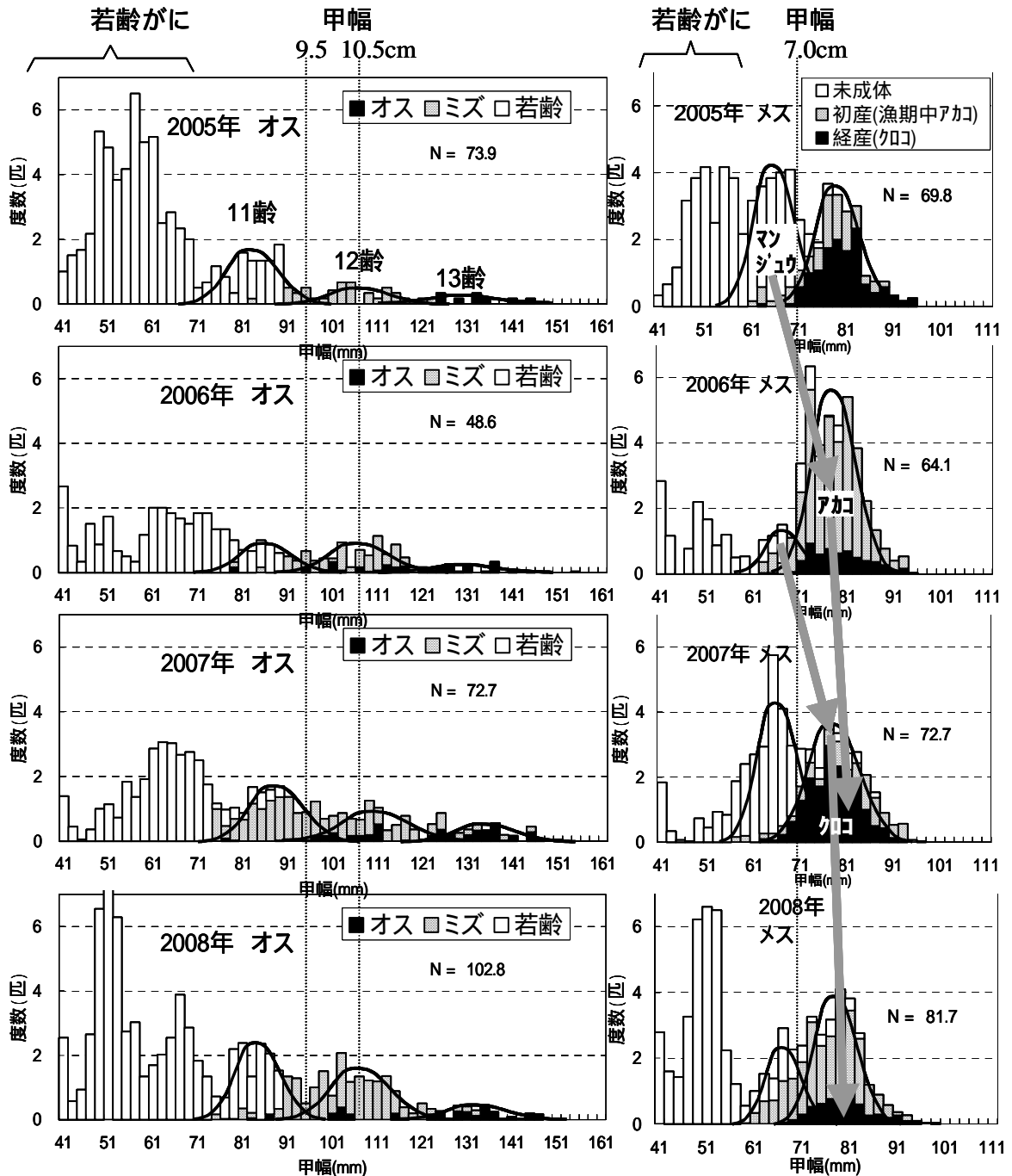


図2 トロール網によるズワイガニ甲幅組成の年推移(2005-2008年)(10月、但馬沖水深200-350m、1.4マイル曳網当たり)